カリキュラムの概要

コース名	対象者	定員
9月開講 介護実務者	健康で学ぶ意欲があり、訓練修了後、取得した資格を活かし就職に就ける方。	20名

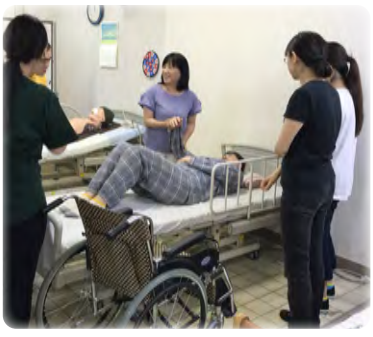
コース内容	訓練時間
福祉支援の専門家としての知識、技術、技能を習得し、高齢者・障害者の自立支援の担い手として広い視野と総合力を合わせ持った知識を習得することを目標とする。 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問介護事業所等介護施設全般への就職を目指す。	9:00～16：20 (1日6時限) 施設見学 募集期間中随時(平日) 要電話/WEB予約

修了で得られる資格
介護福祉士実務者研修課程修了証明書、同行援護従事者養成研修課程修了証明書

科目		教科	内容	時限
学科	法定講義	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	12
		社会の理解Ⅰ	介護保険制度	12
		社会の理解Ⅱ	生活と福祉・社会保障制度・障害者自立支援制度・介護実践に関連する諸制度	36
		介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度・尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開・介護福祉士の倫理	10
		介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援・介護実践における連携・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護福祉士の安全	20
		コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術・介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	24
		生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF・ボディメカニクスの活用・介護技術の基本・環境整備、福祉用具の活用、介護技術の基本	24
		介護過程Ⅰ	介護過程の基本的知識、介護過程とチームアプローチ	24
		介護過程Ⅱ	介護課程の展開の実際・介護技術の展開	30
		介護過程Ⅲ	介護過程の展開	48
		発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響	12
		発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達・老年期の発達・成熟と心理・高齢者に多い症状・疾病等	24
		認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、生活障害、心理、行動、かかわり、支援等	12
		認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、家族への支援の実際	24
		障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、心理、行動の特徴、家族へのかかわり、支援の基本	12
		障害の理解Ⅱ	障害者福祉の理念、心理、行動の特徴、家族へのかかわり、支援等医学的側面からみた障害の理解、支援の実際	24
		こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解	24
		こころとからだのしくみⅡ	人間の心理・人体の構造と機能・身体の仕組み、心理、認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント、観察のポイント、介護・連携等の留意点	60
		医療的ケア	喀痰吸引の基礎的知識と実施手順の確認	50
	法定講義	同行援護従事者養成研修一般課程	外出保障、視覚障害の理解と疾病、視覚障害者（児)の心理、視覚障害者（児)の福祉の制度とサービス、同行援護の制度、同行援護従事者の実際と職業倫理、情報提供、代筆・代読	12
		同行援護従事者養成研修応用課程	サービス提供責任者の業務、様々な利用者への対応、個別支援計画と他機関との連携、業務上のリスクマネジメント、従業者研修の実施、同行援護の実務上の留意点	6
	復習	復習	復習	24
実技	法定演習	生活支援技術Ⅱ	福祉用具等の活用、心身の状況に合わせた介護、環境整備	48
		医療的ケア演習	喀痰吸引、経管栄養、演習	10
	法定演習	同行援護従事者養成研修一般課程	誘導の基本技術、誘導の応用技術(場面別・街歩き)、交通機関の利用	16
	復習	復習	総合復習	14
就職支援	マナー接遇		マナー接遇	6
	キャリアコンサルテイング		会社説明会、ジョブカード記入方法、求人情報収集方法、就職先選定・就職活動の助言、就職先企業の選定、面接対策、履歴書・職務経歴書の作成 キャリアコンサルテイング	36

授業風景

授業では実務経験の豊富な講師がわかりやすく説明をしながら学習します。
初めての方でも安心して学習を進めることができます。



感染対策

ドアや窓を開放し定期的な教室の換気を徹底しています。
また、マスク着用および検温と記録の徹底、エントランス・各フロアごとにアルコール消毒液を設置するなど、感染症防止のための対策を取っています。